



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

2014
vol.14
第4号



「カワウの群れ」撮影：相良 利博 氏

写真：「カワウの群れ」

佐世保では10月から4月頃まで「カワウ」の群れをみることが出来る。九十九島の海域は冬でも比較的温かいので、昼間は魚をねらって海上を群れ飛び、夜間は「江楯池」などのねぐらに移動しているらしい。

INDEX

- ごあいさつ ①
院長 木寺 義郎
- 浜田久之先生の講演会報告
- 新採用医師の紹介 ②
- 認定看護師活動の紹介
- 診療活動の現況 — 産婦人科 — ③
- 禁煙啓蒙研修会の開催報告 ⑤
- トピックス 長崎がんばらんば国体救護班に参加して
- 地域医療連携室より ⑥
- 年末年始の管理当直体制
- 編集後記
- 外来診療担当表 ⑦

患者さんの権利

人格、価値観を尊重する権利

1. だれもが、個人として常にその人格、価値観を尊重される権利があります。

良質な医療を公平に受ける権利

2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも良質な医療を公平に受ける権利があります。

説明を受ける権利

3. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、理解できるまで説明を受ける権利があります。

自分の意見を表明し、自ら決定する権利

4. 十分な情報を得て、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自ら決定する権利があります。

医療について知る権利・カルテ開示の請求する権利

5. 自分が受けている医療について知る権利があります。また、明確な要求に基づき情報を知らされない権利もあります。当院の定めるところの形式に従い、カルテ開示の請求が行えます。

第三者に開示されない権利

6. 自分の個人情報や承諾または法律上の根拠なくして第三者に開示されない権利があります。

他の医療機関への紹介を受ける権利

7. 他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



来年度から予定している「院外処方」について紹介させていただきます。
薬剤師の業務については、薬物の調剤や服薬指導がありますが、院内処方を行っている関係上、現在は外来患者さんへの対応に大きな比重が置かれています。一方では複数の医療機関にかかっている患者さんも多くなっており、それぞれの医療機関からの薬剤を整理したうえで処方した薬剤の服薬指導を行うには多大の労力が求められます。色々な状況の変化なかで、当院も病院の薬剤師として本来の資格を生かす活動をしてもらうために「院外処方」に移行することとなりました。当初はご不便をおかけするかもわかりませんが、長い目で見れば、「お薬手帳」を活用して「かかりつけ薬局」で服薬指導が行なわれることで患者さんが受けるメリットも増えてくると思います。

薬剤師が入院業務に特化することで生じるメリットを挙げてみます。1つは生活習慣病の増加などから多種類の薬を服用されている患者さんが入院されてくる状況のなかで、飲み合わせによって副作用が誘発されることのないように持参薬を確認するという煩雑な業務に精力を集中できることがあります。また高齢者に手術を行う機会も増えておりますので、病態が刻々変化する周術期を中心に薬物療法の面から24時間迅速に対応することができます。めでたく退院に至った患者さんには、自宅でも正しい服用が継続されるように服薬指導に十分な時間を割くことができます。

以上のような通常業務とは別に、特定の分野で高度な知識を持つ薬剤師を認定する動きも始まっています。当院には「がん薬物療法」および「感染制御」に関する認定薬剤師がいますが、それぞれ専門的な知識を生かして入院患者さんを薬物治療の面から支えています。いろいろな立場の薬剤師が活躍しやすい環境を提供することは医療の質の向上と医療安全に結びつきますので、「院外処方」についてのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

浜田久之先生の講演会報告

臨床研修責任医師 福成 健一



講演中の浜田久之教授

去る10月4日に長崎大学病院医療教育開発センターの浜田久之教授をお迎えして、「若人が集う教育病院になろう！～キラリと輝く病院となるために～」というタイトルの下、臨床研修講演会が行われました。聴衆には事前にクリッカーを渡され、先生の質問に答えつつ回答者全員の考えや傾向もリアルタイムで見取れる“聴衆参加型”の楽しい講演内容でした。

まず「何故新人の研修医師や看護師さんを集める必要があるのか」から始まり、病院生き残りのためにもSKH (Speed, Kaizen, High) を目指すべきと述べられました。すなわち病院改革につながる業務カイゼンや教育カイゼンが大切であること、そして地域の病院として高みを目指すことの重要性をお話して下さいました。

昨年度以降初期研修医が不在の状態が続いている当院としても大変参考になりました。今後少しでも改善に繋がるように皆さんと取り組んでいこうと考えさせられました。

新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②研修歴
③専門領域 ④出身地 ⑤趣味、その他一言

脳神経外科

びとう あきつぐ
医長 尾藤 昭次



- ①奈良県立医科大学 平成5年
- ②入局歴 熊本大学脳外科、大阪大学脳外科
- ③脳腫瘍（特に悪性）
- ④兵庫県
- ⑤趣味は温泉や旅行です。佐世保はとても良い街だと思います。食べ物もおいしいし、色々と開拓したいと思います。

今後、長崎県の地域医療に少しでも貢献出来るようがんばりたいと思います。内科的加療～外科的加療まで出来る範囲で皆さんと協力していきたいと思っています。

放射線科

みぞぐち けいすけ
溝口 圭輔



- ①福岡大学 平成23年
- ②久留米大学病院
放射線科医局在籍
- ③放射線一般
- ④長崎県
- ⑤車・バイク。

一日でも早く慣れて、貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。

認定看護師活動の紹介

皮膚・排泄ケアチーム 主任 福井 美樹、前田 紹美

「皮膚・排泄ケア認定看護師」とは、「創傷」「オストミー（人工肛門造設）」「失禁ケア」の3領域の看護を専門に行う看護師で、現在当院では2名が活動しています。1名は外来の褥瘡管理室の専従看護師として院内の皮膚・排泄ケア領域のケアを行っており、もう1名は外科病棟で褥瘡専任看護師を兼務しながら病棟スタッフとともにケアを提供しています。

創傷ケアに関する主な活動は褥瘡の予防や、出来てしまった場合はその治療を行うことで、毎週水曜日に褥瘡回診を行い、リンクナースを含む多職種とカンファレンスを行っています。また、看護部全体会や新人研修を通して勉強会を開いています。

ストーマ（人工肛門）ケアでは、人工肛門の設置部位を患者さんの状態に合わせて検討したり、使用するケア用品の選択など状況に応じたケアを病棟スタッフと協力しながら行っています。ストーマ外来では退院後の合併症の予防に努め、より快適に生活できるように患者さんへの支援に努めています。



左が福井主任、右が前田看護師



回診の様子

失禁ケアでは、おむつの選択やスキンケア用品の紹介を行っています。

皮膚・排泄ケア領域は大変ナイーブな部分です。こうした具体的なケアだけでなく、日常生活や心の悩みを含めた支援を行って、患者さんやご家族が日々安心して過ごせるようサポートしたいと思っています。また、今後は地域のほかの医療機関とも連携をはかりながら活動したいと考えています。

【はじめに】



産婦人科部長
鶴地 伸宏

当院の産婦人科医師は現在6名で、専門医4名と専攻医2名です。これまで1～2名の女性医師が必ずいましたが、今年は男性医師のみになっています。最近医師国家試験合格者の3割以上、九

大産婦人科の入局者の5割以上が女性であることを考えると珍しいことです。今年度は女性医師を希望される患者さんのご要望に応えられないのは申し訳ありませんが、今後は女性医師が増えてくるものと思います。

婦人科外来は本館3階にあり、中待合室が広くとってありプライバシーに配慮した造りになっています。他科の外来に比べると非常にゆったりとしており、恵まれていると感じております。

【産科】

分娩は若手・中堅医師の4人で扱っています。昨年度の分娩は356名で、帝王切開率は約30%でした。平成20年から一時小児科医師が一人になり、分娩数が極端に減少しましたが、岡先生の頑張りにより分娩数も徐々に増加し、平成24年に合田先生の赴任によって小児科が二人体制になってからは妊娠30週以降の早産にも対応できるようになり、分娩数も以前に戻りました。

また助産師による「マタニティヨガ」の導入や、給食課の協力による分娩後の食事の改善などで以前に比べるとかなり患者サービスが良くなっていると思います。

【婦人科】

不妊症に関しては、原因検索のためのホルモン検査・子宮卵管造影・超音波検査・MRI

検査などを行っています。治療については排卵誘発・タイミング法・人工授精などを行っています。体外受精は平成20年までは当院で行っていましたが、大学からの生殖内分泌専門の医師の派遣が途絶え、また市内で生殖補助医療を扱っている施設がないため、現在は福岡市や長崎市の専門クリニックへ紹介しています。

小手術を加えると週に10～15例の手術を行っています。良性の卵巣嚢腫は腹腔鏡手術で行っていますが、まだ症例数が少なく、腹腔鏡下の筋腫核出や子宮全摘術などは行っていません。

いくつかの婦人科疾患について解説したいと思います。

〈異所性妊娠〉

以前は子宮外妊娠（略して「外妊」）と言っていましたが、6年前に名称が変更されました。本来医学的には「異所性妊娠」という名称が正しいのですが、耳に馴染みが無く意味が通じないので今でも「外妊」と言ってしまう。全妊娠の1～2%に発生し、その95%以上は卵管妊娠です。妊娠6週（排卵後4週）で子宮腔内に胎嚢が確認できない場合

年間分娩数と異所性妊娠数

	分娩数	異所性妊娠
平成16年度	371	24
平成17年度	329	16
平成18年度	339	24
平成19年度	322	8
平成20年度	287	16
平成21年度	247	8
平成22年度	283	18
平成23年度	260	14
平成24年度	316	21
平成25年度	356	11

は異所性妊娠が疑われます。しかし月経不順や不正出血が続いていたりすると妊娠を見逃したりすることがあり、卵管破裂・腹腔内出血となると重篤な状態になります。卵管妊娠の場合は卵管切除、頸管妊娠や帝王切開後の癒痕部妊娠の場合には子宮摘出が必要です。早期診断された場合は卵管や子宮を温存する治療法も選択できます。妊娠かな？と思ったら、まず妊娠反応検査をしてみて、陽性であれば子宮内妊娠かどうかを早く確認することが大切です。

〈子宮頸部腫瘍〉

子宮頸癌は15年ほど前から急激に若年女性に増加しています。子宮頸癌の早期発見のためには細胞診によるスクリーニングが欠かせません。産婦人科を受診するのはちょっと恥ずかしいという方が多いですが、集団検診だと抵抗無く受けやすいと思います。細胞の異常が見られた場合には拡大鏡で子宮頸部を観察し、組織の一部を採取して病理診断を行います。前癌状態であることが疑われる場合、子宮頸部を円錐形に切除する円錐切除術をします。病理検査の結果浸潤癌でなければ、子宮を温存して妊娠の可能性を残すことができ

ます。最近広汎子宮頸部摘出術が一部の施設で試みられていますが、妊娠・出産はまだ難しいようです。

〈子宮脱〉

主に閉経後の人にみられ、子宮が膈内や膈外に下がってくるもので、同時に膀胱や直腸が膈内に出てくともあります。程度が軽い場合はペッサリーリングを膈内に入れて下から支えますが、脱出の程度が強い場合には手術療法となります。経膈式に子宮を摘出し、伸びている余剰の膈粘膜を剥離・切除して縫縮し、膈を元の筒状に戻します。

【最後に】

産婦人科開業医の先生方の高齢化が全国的に進んでおり、「お産難民」が各地で発生するのではないかと危惧されます。佐世保でも開業の先生方は減る一方で、何とか対応策が必要な問題ですが、県北には産婦人科のある病院は市立総合病院と共済病院しかありませんので、これからも当院が地域医療に貢献できるよう精一杯頑張りたいと思います。

子宮頸部円錐切除術症例数

平成 16 年度	37
平成 17 年度	62
平成 18 年度	58
平成 19 年度	66
平成 20 年度	46
平成 21 年度	58
平成 22 年度	61
平成 23 年度	56
平成 24 年度	84
平成 25 年度	74



産婦人科医師とスタッフ
(後方左から2番目が鶴地部長)

禁煙啓蒙研修会の開催報告

研修担当：総務課 森木 達彦

去る、10月17日、呉共済病院の塩田雄太郎副院長をお招きして、「禁煙をめぐる話題」についてご講演いただきました。喫煙を続けると、がんや心筋梗塞、脳梗塞のみならず糖尿病などの生活習慣病の発症リスクも高まることが知られており、働き盛りの男性の最大の早死要因は「タバコ」による疾患であるというお話がありました。

女性が気になる喫煙と美容との関係にも触れられ、喫煙によって活性酸素が増えることでコラーゲンが減少し老化現象が早まることや、ビタミンCの吸収が抑制されメラニン色素の代謝が悪くなり、「しみ」や「くすみ」の原因になる等の興味深いお話も聞くことができました。

当日は、職員のみならず一般の患者さん・家族も参加され、禁煙について一緒に勉強するいい機会になったのではないかと思います。



講演中の塩田先生

トピックス 長崎がんばらんば国体救護班に参加して 集中治療室看護師 西原 徹

第69回国民体育大会が45年ぶりに長崎県で開催されました。佐世保市で行われた8競技の中で、私は空手道の大会に救護班として参加しました。当日は少年男女の組手、型や団体戦の組手競技が行われ、全国のトップアスリート達の熱き闘いが繰り広げられました。空手道の組手では熱くなった選手たちが激しく闘い合い、時には骨折や失神といった傷病を負うことがあります。当日は約40名の選手が打撲や捻挫などで負傷し処置を行いました。幸い重症者が出ることなく競技を終えることができました。

診療の合間には間近で試合を観戦していましたが、選手たちの殺気にも似た闘志がひしひしと伝わり手に汗握る楽しい時間でもありました。気になる長崎県勢の結果は団体戦優勝、個人優勝者4名、準優勝者4名、3位入賞者が2名と素晴らしい結果を残してくれました。記念すべき大会と素晴らしい結果に関わることができ大変うれしく思います。選手や関係者の皆様お疲れ様でした。

※国体救護班として、当院からは萩原副院長を始め、5名の整形外科医師と14名の看護師が参加しました。



左が西原看護師（右は中央病院北原医師）

森本耳鼻咽喉科医院

〒857-0873 長崎県佐世保市宮崎町4-6

TEL 0956-22-1781

院長 森本 健三 先生



先代である父がこの地で開業したのは三十数年前、私が10歳の時でした。その後、勉強嫌いの自分にふりかかる幾多の難関を乗り越え、ようやく佐世保に帰ってこられたのが四年前のことです。当初は大学病院と医院との診療スタイルの違いに戸惑い、やっていけるのか不安になった事もありましたが、今では頼りにしてくれる患者さんにも恵まれ、なんとか自分なりの体裁が整ってまいりました。

しかし、一人で手持ちの診療道具のみでやっていくには、どうしても限界があります。重症患者さんを助けるには上級の病院に紹介する、そんな決断が必要な時、田浦先生や丸田先生のいらっしゃる共済病院は、本当にありがたい存在です。先日も診療に難渋する患者さんを時間外にご紹介した際には先生方に全力で対応していただきました。本当に感謝しております。しかし、先生方も非常に忙しくされているのも重々承知しておりますので、逆紹介も可能な限り引き受けさせて頂くつもりです。こういった連携の大事さとか、持ちつ持たれつの良好な関係というのは、大学病院勤務中はあまり感じられなかったのですが、今では良く理解できるようになりました。



院長 森本健三先生

福岡には大学病院が四つあるのですが、実はその耳鼻咽喉科医師達は、普段から同じ病院で一緒に働いたり、地元の学会で討論しあうため、お互いに尊重しあう良い関係が築かれています。先生方と出身大学が違う自分がなんとかやっていけるのも先生方の御人柄のおかげです。

佐世保市の耳鼻咽喉科医師数は、確実に減少してきています。これからも今まで以上に連携をはかり、市民の健康に貢献できたらと考えておりますのでなにとぞよろしくお願いします。

年末年始の管理当直体制

	12月27日 (土)	12月28日 (日)	12月29日 (月)	12月30日 (火)	12月31日 (水)	1月1日 (木)	1月2日 (金)	1月3日 (土)	1月4日 (日)
日直 8:30～17:30	二次輪番日	内科	整形外科	麻酔科	整形外科	二次輪番日	外科	整形外科	整形外科
当直 17:30～翌8:30	二次輪番日	放射線科	泌尿器科	外科	外科	二次輪番日	放射線科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科

編集後記

2010、2013～2014年の表紙写真は当院職員の相良氏の作品です。先日、アマチュアカメラマンとしてテレビ局の取材を受けました。テレビを見て興味をお持ちになった方は、当院ホームページの「きょうさいだより」のバナーをクリックしてみてください。四季に合わせた今までの表紙が閲覧できます。

編集委員 田代 祐子



科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部 長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医 長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医 員	吉崎 真衣					●				●		腎臓疾患
	〃	野中 康德	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部 長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医 員	濱村 仁士	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	瀧井 英一									●		循環器疾患
〃	西田 憲史	●		●									循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	三雲 大功									●		呼吸器疾患
	〃	大田 恵一					●						呼吸器疾患
消化器内科	部 長	河野 健次			●				●				肝臓疾患
	センター長	宿輪 三郎	●				●						消化器内科疾患
消化器センター			● 西村		● 富崎		● 佐藤		● 仕垣		● 井原		（診療内容）上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 （検査内容）胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
外 科	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部 長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医 長	三笠 圭太	●				●				●		血管外科・一般外科
	〃	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	医 員	西村 太郎			●				●				一般外科
	〃	仕垣 隆浩	●								●		一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二							●				呼吸器外科 11 時までに受付を行って下さい	
乳腺外来			● 佐藤		● 仕垣		● 原田		● 原田		● 西村		※乳癌検診は、10 時までに受付を行って下さい（要予約）
小 児 科	診療部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	医 長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳 児 健 診					●							火曜 午後 1 時から診察開始 午後 2 時までに受付を行って下さい
	慢 性 外 来							●					水曜 午後 2 時から診察開始
	喘 息 外 来									●			木曜 午後 2 時から診察開始
脳神経外科	医 長	尾藤 昭次	●		●		●		●		●		脳神経外科一般・脳腫瘍
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	医 長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科（肩肘手）、足部外科（外反母趾等）、スポーツ障害
	医 員	佐々木 大	●				●		●				膝股関節疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科（肩肘手）、スポーツ障害
	〃	千住 隆博	●		●						●		整形外科一般
	〃	矢野 良平			●		●		●				整形外科一般
	〃	巢山みどり	●		●				●				整形外科一般
	〃	清水 大樹	●				●				●		整形外科一般
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染、男性不妊（江口）
	部 長	江口 二郎	●		●								▲の診察は第 1 週のみ 10 時 30 分からです
	医 長	中村 貴生			●		●		▲				
産婦人科	院 長	木寺 義郎	●								●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部 長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	〃	松隈 敬太							●				
	医 員	大塚 純一	●■				■		●		●		
〃	友延 寛	●											